

## 会 議 結 果

会 議 名	平成29年度 第3回西尾市地域自立支援協議会
日 時	平成30年3月16日(金) 午後2時～3時40分
場 所	西尾市役所本庁舎22AB会議室
出 席 者	委員12人(欠席者7名: 出口委員、倉内委員、山本委員、給田委員、尾崎委員、榊原委員、川原委員) 糟谷地域支援部会長、藤田子ども部会長、福岡就労支援部会長、岡田権利擁護部会長 事務局…福祉課(大西次長、杉山、高須、杉浦) 西尾市社会福祉協議会相談支援事業所(岡田) めだか工房相談支援事業所(鈴木、福田)、相談支援センターあると(伊澤、松園)
傍 聴 者	0人
議 題	1 平成29年度担当者部会活動報告について 2 平成30年度西尾市地域自立支援協議会日程について 3 第5期西尾市障害福祉計画・第1期西尾市障害児福祉計画の策定について 4 その他
結 果 等	<p>(1) 平成29年度担当者部会活動報告について</p> <p>各担当者部会の活動状況について報告をし、委員から意見を聴取し、承認された。</p> <p>●地域支援部会 『緊急時の対応について』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時のイメージのフローチャート、受け入れ施設との協定書及び実施要綱、アセスメントシート の提示、緊急時の対象かどうかは福祉課が判断することを報告した。</li> <li>・平成30年4月に報酬改定があり、報酬確定後に決定の予定。</li> </ul> <p>●子ども部会 『サポートブックの見直しについて』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度やライフステージの変更時に支援のつながりが悪く、サポートブックを利用することでつ なぎをスムーズにして福祉サービスを向上することが目的。</li> <li>・当事者が自分のために作成し、支援者の協力のもと利用していくこと、否定的な表現でなく解 り易く書けるよう記入例を考えていく。</li> <li>・サポートブックがあると助かるという環境を作ることが大切。</li> </ul> <p>●就労支援部会 『障害者雇用を考える』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労サポートブックの内容について、履歴書重複部分の削除、医療情報及び個人情報同意書の 追加、対象者は一般就労、事業所変更する人で福祉課・ハローワーク等で配布予定。</li> <li>・過去2年で実施した障害者雇用セミナーの参加企業へのアンケート結果の報告。</li> <li>・企業の相談先検索のためのフローチャートと相談事業所一覧の作成を報告。</li> </ul> <p>●権利擁護部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者差別解消法や成年後見制度の周知啓発について検討、市及び事業所職員を対象に職員対応 要領の合理的配慮等と成年後見制度の説明会を実施したことを報告した。</li> </ul> <p>(2) 平成29年度西尾市地域自立支援協議会日程について</p> <p>平成30年度は本会議だけでなく、各部会とも年3回程度の開催日を事前に決定。変更がある場合は 連絡する旨報告。</p> <p>(3) 第5期西尾市障害福祉計画・第1期西尾市障害児福祉計画の策定について</p> <p>計画の概要と現状、目標を説明の後、サービスの見込み量・確保策の策定と今計画より障害児の計画 を別に作成することになったことを報告。障害者計画を親計画に障害児者や保護者のアンケート、事業</p>

所のヒアリングも参考にした。8050問題のように介護者の高齢化などの課題がある。計画と実績の乖離や目標の達成状況を協議会に報告していく。地域生活支援拠点の整備は市単独となったが、調整役として基幹相談支援センターの設置を計画にあげた旨報告した。

#### (4) その他

- 地域アドバイザーの山北委員より、拠点整備のコーディネーターとして活動、平成30年度に安城市が一人暮らし体験の機能を実施予定、参考にしてほしい旨報告。

